



あしべつ

令和8年1月号

p 2～3… 市長・市議会議長の新年のごあいさつ

p 9～10… 広報紙に関するアンケート調査



芦別RICE「天皇杯」受賞



天皇杯を手にする沼田哲男会長（中央）

令和7年度の農林水産祭で、芦別市の「株式会社芦別RICE」が、多角化経営部門の最高賞である天皇杯を受賞しました。

天皇杯は、全国で約500点の中から選ばれる、農林水産業で最も名誉ある賞です。

芦別RICEは、地元の若手農家3人が「芦別のお米を未来につなぎたい」という思いで立ち上げた会社です。国内の米需要が減る中、平成27年から本格的に米の輸出に挑戦。香港、シンガポール、アメリカなどへ販路を広げ、令和6年は協力農家とともに1,287トンを輸出しました。生産者自身の取組みとしては全国最大級となります。

また、ロボット田植機などのスマート農業を積極的に導入し、若い人が働きやすい環境づくりにも力を入れています。さらに、商品企画やデザインなどで女性が大きく活躍していることも高く評価されました。

芦別のおいしいお米と、それを支える皆さんの挑戦に、心からお祝いを申し上げます。

